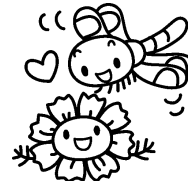


9月光の子園だより



保育理念 光の中で愛をもち 支え合い育ち合う

2022年度 年主題 『つながって ～今、わたしを生きる～』

<http://hikarinoko-nursery.jp/>

聖書のみことば

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
どんなことにも感謝しなさい。

(テサロニケ信徒への手紙 I 15 : 16 ~ 18)

9月の主題 0歳児『のびのびと』 1・2歳児 『きこえる』

今月の願い (0歳児)

- ☆お祈りやさんびかを歌う姿を見てまねようとする
- ☆保育者と一緒に空の雲を見たり虫の声を聞いたりする
- ☆興味の幅が広がりのびのびと身体を動かす

今月の願い (1.2歳児)

- ☆さんびかや聖書のお話に親しむ
- ☆保育者との関係が深まって、遊びや応答を楽しむ
- ☆夏から秋に移り変わる中、虫の声に耳を傾けたり、風を感じたりする

9月を迎えました。残暑で汗ばむ日がしばらくは続きそうですが、園庭ではトンボが飛び交うようになり秋の訪れを感じます。

2歳児クラスではこの夏、様々な虫に興味津々でした。保育室で遊んでいると、子どもたちは「…なんか聞こえる！」と話します。「セミが鳴いてるね」と声をかけると、次の日からは「先生！セミいる！」と教えてくれました。「お外にいるかな？探してみる？」と声をかけると「うん！つかまえられる！」「さわられる！」と自信満々に応えます。園庭に出ると「あ！ここにいる！」と木の上の方を指さしています。子どもたちにはセミの姿は見えていなくても、“セミの声はどこから聞こえるのかな？”と耳を澄ませて探し当てたのでしょうか。保育者が虫取り網で捕まえると“ジジジジ” さっきとは違った音を立てるセミに驚きさっと後ずさりをしました。子どもたちはセミの鳴き声の違いや音の大きさの変化を感じ取っていました。少し離れたところからでも「動いてる！」としっかり見ている子どもたち。近くで見たいという気持ちはあるようでそーっとそばに寄ってきました。虫かごに入れる前に“バタバタ”と一瞬で逃げられてしまいましたが、「とんだ！」とセミが飛ぶ姿を見て子どもたちの興味は一層深まったように感じました。

室内では保育者がセミの写真や虫の図鑑を用意すると、子どもたちは壁に貼っている写真を見つけ「あそこにセミいるんだよ～」と保育者や友だちと嬉しそうに話しています。図鑑でセミを見ていた子

どもは色々な種類のセミがいることに気が付きました。「これもセミ？」と名前を順に聞いたり、「これはク、マ、ゼ、ミ」とお気に入りの名前を得意気に言い当てたりします。「クマゼミは“シャンシャン”って鳴くんだねえ」と一緒にやり取りを楽しみました。子どもたちの虫への関心はこれからも続いていきそうです。見て、触って、聞いて、五感を働かせながら様々な発見や不思議など、気がついたことを保育者が一つひとつ受け止め寄り添うことで、あそびや生活の中で学び、”もっと知りたい“と感じていけたらと思います。

新型コロナウイルスの収束が見えない状況ではありますが、これからも保護者の皆様とともに子どもたちの体調を見守り感染予防に努めて参ります。子どもたちと一緒に目を閉じ、秋の風や虫の声を感じながら、心も体も健やかに育まれるよう過ごしていけたらと思います。

(保育教諭 佐々木 緑)

9月の予定



光の子認定こども園
神戸市東灘区向洋町中2-3
078-857-1577

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 お誕生会	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20 発育測定測 (つきグループ)	21	22	23	24
25	26 発育測定 (マナ分園) (ほしグループ)	27 避難訓練	28	29	30	

地域・子育て支援…園庭開放 (毎週水・金曜日※予約制)

☆お知らせ☆

9月から園だよりはホームページにて掲載されます。玄関にも園だよりを置いていますので、必要な方はご自由にお取りください。

また、日常の様子ブログもアップされていますので、ぜひご覧ください。